

# とやま県プラ



～子育て中のツバメ：和倉温泉総湯にて～

## CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 通常総会
- 4 トップインタビュー
- 6 シリーズ プラスチック業界：提言
- 7 総務委員会レポート
- 9 技術委員会レポート
- 10 会員広場
- 11 会員交流：つどいの場
- 13 会員企業による景況調査
- 15 プラスチック関連データ
- 16 共創

富山県プラスチック工業会  
2023.8 No.51

## VUCA (予測不能) 時代への取組み

富山県プラスチック工業会  
会長 中西 誠



皆様には、平素より、当工業会の活動に多大なご理解ご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。この度、5月通常総会におきまして、皆様からのご承認を頂き会長を再任致しました。変化の激しい予測不能な時代であり、責任の重大さを実感し身の引き締まる思いです。役員新体制のもと、より一層の業界の発展と技術革新や環境への配慮など、持続可能な未来へ向けて会員の皆様とともに愚直に取り組んで参りたいと思います。引続き、ご支援とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

コロナ対策も3年余り続き、5月8日より2類相当から5類に移行となり大きな節目を迎えました。コロナ禍の3年間は大変困難な時期ではなかったかと思えます。いろんな規制や制限のある中でも感染拡大を抑制し安全性を確保しながら、お客様との関係づくりや取引業務の安定遂行のため、「デジタル化対応」「テレワーク」「オンラインビジネス」の取組み、そして社会課題の「環境の取組み」「働き方改革」など、社会性と経済性の両方に取組んでこられた会員の皆様の努力に敬意を表します。今後、世界経済の回復を期待するところですが、ウクライナ問題・エネルギー問題・モノ不足・インフレ物価高・人手不足など、VUCA (予測不能) の時代が続くことが予測されます。予測困難な中、商品とサービスの付加価値を高めお客様満足の向上、働き方改革により生産性向上と社員の幸せエンゲージメントを高め、社会課題(環境・人口減・人手不足)の解決にも柔

軟な発想と弛まぬ努力で、事業発展につながることを願っています。

富山県のプラスチック産業の発展に向けて、産・学・官・金の連携推進はもとより他業界との異業種交流や新たな連携体制の構築、更に、これからの相乗効果による開発速度の向上や効果等も期待されており、その橋渡しの役目を的確に果たしていくことも当工業会の重要な役割のひとつであると考え取り組んで参ります。このような時に当工業会では、経営及び人材育成、技術力技能向上の課題の確実な把握と問題解決に向けて、協力しつつ新しい時代を切り開いていくことが極めて重要だと認識しております。また、懸案になっていた押出成形社内検定認可に向けて、厚生労働省・審査委員の視察審査が実施され、今年度内に認可取得を目指して取り組んでいます。社内検定制度を通じて富山県プラスチック産業の技術力向上につながる事を期待しています。関係者の皆様の取組み協力に心から御礼申し上げます。

最後に、阪神化成工業(株) 門前様には、長年にわたり総務委員会の推進にご尽力頂き、厚く御礼申し上げます。今後は引き続いて豊富な経験を生かして、事務局相談役としてアドバイザーをお願い致しました。末筆になりますが、会員企業の皆様には引き続き当会の活動にご理解とご協力を賜りますとともに、会員企業の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げます。

## 2023年度 第62回 通常総会開催

### ●通常総会

通常総会が5月31日(水)午後3時30分から、ホテルグランテラス富山において開催されました。はじめに、中西会長より開会の挨拶があり、その中で経営課題が山積な状況においても、魅力ある企業・選ばれる企業として、多々の施策を取り組んで行くことが必要不可欠となっています。当工業会運営においては、産学官連携、情報発信支援、人材育成を推進し、各会員企業様への手助けとなる事業を継続して行きます。そして、このような時こそ会員企業様との情報交換や連携を継続して行ければと、力強く挨拶されました。その後、議長に中西会長を選出して議案の審議に入りました。下記の議案について、全て原案の通りに可決承認され、総会を終了しました。今年度は役員改選にて、新しく5名の役員が就任されました。当工業会の運営等に御尽力下さいますようお願い申し上げます。

- 第1号議案 2022年度事業報告の件
  - 第2号議案 2022年度収支決算報告・監査報告の件
  - 第3号議案 役員改選(案)の件
  - 第4号議案 2023年度事業計画(案)の件
  - 第5号議案 2023年度収支予算(案)の件
- 報告事項



総会

### ●懇親会

懇親会は、新型コロナが5類へと移行され落ち着いた状況でもあり、72名と多数出席をいただき開催されました。中西会長の開会挨拶の後、富山県商工労働部の中谷部長より富山県の近況や施策含めた挨拶そして、乾杯のご発声をいただき歓談に移りました。その後、今年度新たに副会長に就任いただきました高畑様より、時代の流れによるヒット商品の移り変わりや、当工業会の思い出等のお話をいただきました。各テーブルでは、昨年以上に情報相互や、親睦を深められていました。延澤副会長より中締め挨拶そして、恒例の一本締めにてお開きとなりました。



懇親会



懇親会



懇親会

# 信頼される製品づくりを通して 「安全」「安心」への更なる追及へ



日本安全産業株式会社  
代表取締役社長 藤井 義晴 氏

電力・配電関係保安器材の、ものづくり開発企業です。藤井社長に「ものづくり」における考え方や理念を、濱井委員にインタビューしていただきました。

【インタビュアー：会報編集委員】

(株)碓井製作所 濱井 泉氏

## 1. 創業経緯や製品をご紹介します。

1961年に創業し、1965年に現在の日本安全産業株式会社に改名し、「電力・配電関係の保安器材」を開発・販売している企業です。「電力・配電関係の保安器材」は一般にはなじみが薄い製品かもしれません。道路の端に建っている電柱の上、信号機よりもさらに上に取付けられている配線防護カバーや、その他、絶縁シート・安全標識・計器類等、電力の安全供給に欠かせない、身近で私たちの暮らしを支える製品を扱っています。創業時から、世の中になかった製品を提供するため、工場を持たずに、「満足度の高い製品を柔軟な発想から生み出す」をモットーとする会社です。

## 2. 社長に就任され、取組んできた事や印象に残ることについてお聞かせください。

経営理念である、「創造性に富む確かな製品」「社会への積極的貢献」「企業の限りなき繁栄」の更なる達成に向けて、日々取組んでいます。

当社は創業時から、「安全」をキーワードに製品開発に取り組んできました。特に、工場を持たないビジネススタイルの利点は、製品の大きさ・工法に縛られることのない、自由な発想で製品開発を行うことができます。通常は工場設備に偏った製品への受注活動に陥ってしまいま

す。例えば射出成形50tクラス・100tクラスの設備では、その設備の製品しか生産できません。又、設備を稼働させることが主体となってしまいます。工場を持たない利点を最大限に活かして、無限の発想力で確かな製品を作ることができます。

電力は公共のインフラ設備でもあり、安全が第一です。当社の製品は、ひとたび不具合を発生させると、停電や様々な災害をひきおこす製品であり、「安全」「安心」を提供することで、「社会への積極的貢献」を果たして行きたいです。そのために、お客様のニーズに確実に応えることができる、品質保証体制構築、試験設備の充実を図っています。

近年、更なるニーズ（環境対策・脱炭素・省力化など）が年々高まり、求められる技術力・提案力も高度化しています。お客様のニーズそして、+αの提案でこそ、お客様に喜んでいただくことができます。ただ、利益を上げるだけではいけない、お客様に感動を与えられることが、会社の目指す目標です。そのためには、人財が一番大事であり、「企業は人なり」とも言います。特に、「ものづくり」への喜びと大切さが理解できる「人づくり」が重要であると考え、社員が十分に力を発揮できる企業文化を作り上げ、社員が夢や誇りを持てる企業であり続けていきたい。それこそが、「企業の限りなき繁栄」へと繋がって行くと思います。

このような絶え間ない活動の結果が、電気保安協会より、製品発明・工夫や



創造力と先進性を、豊かな文明のために

 株式会社 碓井製作所

〒930-0357 中新川郡上市町正印3の1  
TEL (076) 472-4605  
FAX (076) 472-2908



Clean Factory Since 1946



Clean Factory

生命を脅かす医薬品のパッケージだから、私たちは、Clean Technologyをパッケージクリーンな工場で安心できる製品を製造しています。

**SAITO**  
Plastics Molding / Package & Parts

株式会社 碓井製作所  
〒930-2251 富山県富山市下大久保 61  
Tel (076) 468-2727 Fax (076) 468-3911  
URL: http://www.saito-inc.com

電気保安確保に、優れた功績に与えられる「渋沢賞」を幾度となく受賞しており、企業努力・提案力の結晶だと思っています。

### 3. 人材育成の取組みについてお聞かせください。

商品開発での発想力は、“基本知識+好奇心+ものづくりへの楽しさ”があって製品が生み出されて行きます。発想が自由にできるためには、基礎知識（プラスチック全般・組立技術・成型等多方面の知識）がベースに有る事は欠かせないことから、知識習得も推奨しています。そして、当社ビジネスモデルの製品開発・ものづくりは発想力です。「ものづくり」は、これで良いと思った時点で成長が止まり、発想も出てこなくなってきました。まずは、自分でトライ・実践して行く。そんな中で、ものづくりの喜び、たのしさを知り、失敗から多くの事を学びとることが出来ます。それを繰り返して実践することが重要です。まずは、先輩とのOJTを中心とした、実践教育を実施しています。

### 4. 従業員の皆様に伝えたいことは何でしょうか。

当社は、人財に頼るしかありません。開発業務は「無形の力に限界なし」「仕事に誠実であれ（あって欲しい）」と思っています。月1回の朝礼で、社員に言っている事があります。

- ・ 自律：自分で考え・実践できる
- ・ 興味を持つ：自分の事として聞く・考える
- ・ PDCAを意識もって仕事をする
- ・ 反省をする：悪い事、良い事を振り返ることで成長する以上を実践することを伝えています。又、仕事のできる人は、「仕事の要点がわかる人」「納期・期限を守る」「まわりの人の気持ちがわかる人（理解できる）」です。そこから出来上がった製品には、使いやすさ・気配りが配慮されています。製品に人柄がでてきます。そんな人を目指して欲しいと思っています。

### 5. 座右の銘やご趣味についてお聞かせください。

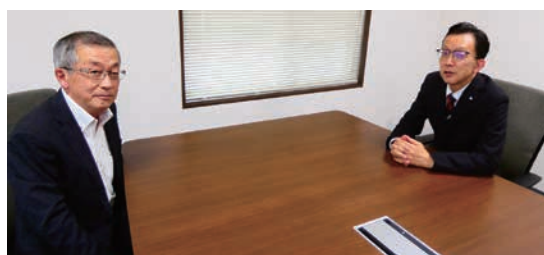
私の座右の銘は、  
「流汗悟道」：自分で体感しないと何事も分からない  
「凡事徹底」：なんでもない事を徹底してやり遂げる  
経営運営の基本として、日々自分でも心がけている言

葉です。

私の趣味は、ランニング、書道、美術館巡り（鑑賞）です。以前、リレーマラソン大会に誘われて走ったことがありました。その後、せっかく準備したこともあり、軽い気持ちで始めたことが今も続いています。今では、富山マラソンには毎年出場しています。走っていると“無心”となり、リフレッシュできています。又、書道や美術館巡り（鑑賞）も心を落ち着かせるためには大変良く、リフレッシュには欠かせません。

### 【インタビュー後書き】

今回、藤井社長から「仕事をしていく中で誠実であることの大切さ」「正々堂々と自分が取り組んで、お客様に喜んでもらう」との信念をお聴きした時に、「ものづくり」に係わる者として胸が熱くなりました。貴重なお話を有難うございました。今後更なる貴社のご発展と社長、従業員皆様のご健勝を祈念いたします。



インタビュー（左） 藤井社長（右）

### 【会社概要】

会社名 日本安全産業株式会社  
本社 富山県富山市安養坊82番地3  
設立 1961年9月5日（昭和36年）  
資本金 4,000万円  
事業内容 電設資材の製造・加工および販売  
合成樹脂製品の製造・可能および販売  
各電気・電工メーカーの代理店業務

### 製品群例

絶縁カバー類、鳥獣害対策用品、  
間接活線・無停電工法工具類  
送電・通信・電設器材類

 **三光合成株式会社**  
SANKO GOSEI LTD.

〒939-1698 富山県南砺市土生新1200  
1200 HABUSHIN NANTO-CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN  
TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925  
<http://www.sankogosei.co.jp/>

安全と清潔を売る包装の

 **株式会社 大樹**

本社・工場 〒939-0418 富山県射水市布目沢201  
TEL(0766)53-1331(代) FAX(0766)53-1330  
URL <http://daiki.org>

## 「プラスチックの環境問題の現状と今後の対策」



環境・バイオ・プラスチックリサーチ  
代表、博士（工学）位 地 正 年 氏

プラスチックは、1950年代以降、石油の大量生産に伴って量産化が進み、優れた利便性と低コスト化により、日用品から、電子機器、自動車、建材などの耐久製品まで幅広く利用されている。一方、その廃棄物のリサイクルは進んでいないため（世界平均のリサイクル率は2019年で約9%。以降の集計値も同年）、土壌や河川などの環境中に放置されたものは、長期間、分解せずにそのまま留まってしまい、特に、海洋に流出したものは、マイクロプラスチックとなり、生態系への重大な影響が懸念されている。

プラスチックの廃棄物による環境問題は1980年代から活発に議論されるようになり、EU等ではリサイクルが進んだ（EU主要国：約30%）。一方、日本では、長年、熱回収や焼却が処理方法の主体であったが（廃プラスチック全体の約60%）、温暖化対策からCO<sub>2</sub>排出量の削減が可能なりサイクルの重要性が高まっており、特に近年、EU提唱の循環型経済（サーキュラーエコノミー：CE）への関心を高い。CEとは、枯渇する貴重な資源を使った材料に対し、その価値の循環を意味しており、経済性が一つの重要指標である。このため、廃プラスチックに対して、熱回収ではなく、材料としての価値を生かせるマテリアルリサイクルや、原料の回収（ケミカルリサイクル）が重要となる。日本では、PETボトル、家電筐体、包装容器などのプラスチックのマテリアルリサイクル（約22%）や製鉄工程でのコークスの代替え利用などのケミカルリサイクル（約3%）が進

みつつあるが、さらなる推進が課題である。

一方、プラスチック自体の環境対策として、1980年代から、廃棄後、環境中で分解できる生分解性プラスチック、さらに、1990年代から、石油資源の枯渇や地球温暖化の対策に寄与できる植物原料（バイオマス）を使用したバイオマスプラスチックの開発と実用化が進められた。これらは、両方を合わせてバイオプラスチックと呼ばれており、欧米やブラジルに加え、近年、中国や東南アジアで生産が進められている。しかし、少量生産による高コストなどの理由で、現在の生産量は、プラスチック全体の0.5%程度（約220万トン、日本：約4万トン）に留まっている。さらに、海洋中での分解まで可能なものは、一部のポリエステル系（PHBH、PBSA）や多糖類変性系（セルロース系、デンプン系）など、非常に限られている。

今後のプラスチックの環境対策として、リサイクルが最も重要な解決手段であり、CEに適合した包括的なリサイクルの進展が望まれる。このためには、リサイクルしやすい製品や材料の設計・開発とともに、その製品に適合した回収、選別、再利用を組み合わせた総合的なリサイクルシステムの構築が重要である。さらに、バイオプラスチックの利用拡大も望まれ、このため、低コスト化とともに、リサイクル性や不法投棄対策としての海洋分解性を兼ね備えたものの実現を期待したい。

— Plastic 豊かな未来をひらく —



**⊕ 太平株式会社**

TAIHEI Co., Ltd.

〒939-1690 富山県南砺市福光737  
TEL(0763)52-1136  
FAX(0763)52-6116

NEXTAGE 100  
**タカギセイコー**  
“願い”を“カタチ”に

本社 / 高岡市二塚322-3 ☎ (0766) 24-5522 (代)  
<https://www.takagi-seiko.co.jp> 証券コード:4242



## 労務研修会

### ●2022年度 労務研修会Ⅲ

今回の研修会では、労働基準法改正による時間外対応について、例題を使って注意ポイントを説明されました。特に、製造企業として対応すべき方法を分かり易く説明をいただき、非常に参考となる内容でした。

日 時：2023年2月8日(水) 14：00～15：30

場 所：富山技術交流センター2階 大研修室

演 題：「労働時間把握できていますか？」

～令和5年4月1日から中小企業も60時間超え残業の割増率は50%です～

講 師：社会保険労務士法人 片境事務所 代表社員 片境 一暁 氏

参加者：11社14名



研修風景

#### ★受講感想 北陸電子(株) 山下 香織

令和5年4月1日に改正される労働基準法の変更点を学びました。中小企業にも60時間超え残業の割増率50%が適用されるということで、時間外労働について、36協定とも絡めて明快にご説明いただき、理解が深まりました。社員から時間外の計算方法の質問を受けた際、法定・法定外や所定内・所定外の違いを分かってもらうのに苦労することがありますが、今回の法改正とそれに伴う社内規程の変更について社内への周知を徹底し、適切に対応を行ってまいります。

### ●2023年度 労務研修会Ⅰ

今回、「労働保険と社会保険と副業」と題して、労働保険・社会保険の知識を基に、副業への対応そして、労務担当者が知っておくべき内容や手続きについて、例題を用いて説明がありました。昨今の人材不足や国策として副業を推奨している状況の内容でもあり、参加者から自社での課題・問題について、多くの質問もあり大変有意義な研修会でした。

日 時：2023年6月15日(木) 14：00～15：30

場 所：富山技術交流センター2階 大研修室

演 題：「労働保険と社会保険と副業」

～自社の社員が他社で副業!? そのときの手続きは?～

講 師：社会保険労務士法人 片境事務所 代表社員 片境 一暁 氏

参加者：12社13名



研修風景

#### ★受講感想 金森産業(株) 大原 暢子

労働保険、社会保険、副業について学びました。加入要件変更について再確認することが出来ました。知識を活かして人的ミス、うっかりミスを防ぎ間違いのないように対応しなければいけないと痛感いたしました。また、どこで誰に聞くか分からなかった小さな疑問点を片境先生にとっても丁寧に分かりやすく説明していただきました。充実した内容のセミナーでした。

## 青年部会

### ●第1回青年部会研修会（経営研修）

2020年からワイナリーを自然豊かな南砺市立野原西（コート・ドール）に、一念発起して人生を賭けて立ち上げ誕生させられました。その立ち上げにおいては、いろいろな方々からの支援・協力をいただいていた誕生までの苦労話し含めて経験談を話されていました。そんなワイナリーの運営では、畑、景色、取り組み、志はもちろん素晴らしいのですが、何よりも中山社長の好きな事を、真剣に情熱を持って話されていました。いまだに、若者のようなバイタリティでキラキラした印象的でした。

日 時：2023年7月4日(火) 14：00～15：30

場 所：富山技術交流センター2階 大研修室

演 題：「情熱は伝播する・ワイナリー建設物語」

講 師：トレポー株式会社 代表取締役社長 中山 安治 氏



講演会の様子

参加者：9社13名

★**受講感想** (株)タカギセイコー 海見 雄一

青年部会に参加して2年目にあたり、今回中山さんの講演を拝聴させていただきました。

その中で特に印象に残ったのは、愚痴は相手が同情してくれるが助けてくれないということです。頑張ってみようと思っていると相手は助けてくれるし、自分は助けられないけど助けとなる人を紹介してくれるし、オセロが黒から白に替わるように物事がうまく進み出す。悟りの境地をワイナリー設立においても実践され、いまでも情熱を注いでおられる姿に心を打たれました。

## 経営セミナー

第1部では、富山県における「人減少・少子化の現状」「男女共同参画現状」より富山県の施策・取組みを丁寧に説明いただきました。今後は、選ばれる企業になるためにも、働き方改革・女性の活躍できる環境整備や考え方の重要性について、多くを知ることが出来ました。第2部では、創業から「技術」をもって常に変化への対応を行ってきた歴史があり、会社の強みであると話されていました。又、VUCA時代を生き残るために企業としての大事な事(創造と代謝)や未来をどのように作るかを、講演いただきました。

日時：2023年7月12日(水) 14:00~16:00

場所：富山県総合情報センター1階セミナー室A

参加者：18社32名

【第1部講演】

演題：「働き方改革・女性活躍推進」

～就職期の女性に選ばれる富山県を目指して～

講師：富山県知事政策局働き方改革・女性活躍推進室

女性活躍推進課 課長 山口 康志 氏

【第2部講演】

演題：「技術のタカギ」その歴史

講師：株式会社タカギセイコー 取締役相談役 八十島 清吉 氏



山口講師



八十島講師

★**受講感想** (株)トヨックス 油本 希世

今回のセミナーでは、県内で働く女性の現状と課題が分かりやすくまとめられており、とても参考になりました。

「男性育児休業取得率」に関しては、弊社でも徐々に増えていますが、取得率アップは今後の課題です。これから男性にも積極的に育児休業を取得してもらうために、休業社員の業務フォロー体制強化、対象者への給付金活用案内など、女性だけでなく男性も仕事と家庭の両立ができる働き方の環境作りと標準化が必要だと感じました。

## 研修講習事業

■**前期レベルアップ研修会**

日時：2023年4月11日(火)~27日(水) 9:00~16:00

場所：ポリテクセンター富山

参加者：28名



研修風景

**モノづくりは、人づくり。**  
**大きな夢を育てたい。**



**戸出化成株式会社**



本社・工場 富山県高岡市ICパーク12  
〒939-1110 TEL 0766-63-5152(代)  
FAX 0766-63-5099(代)



## 講習事業

### ■射出成形技能講習（実技）

日 時：2023年5月15日(月)～6月20日(火) 9：00～16：00

場 所：ポリテクセンター富山

講 師：渋谷 巽氏 渡辺 秀夫氏

受講者：1級20名・2級56名



射出成形実技講習

### ■射出成形技能講習（学科）

日 時：2023年7月8日(土) 9：00～15：00

場 所：ポリテクセンター富山

講 師：渋谷 巽氏

受講者：1級11名・2級32名



射出成形学科講習

## 押出成形事業

### ○技能講習（学科）… 専門・共通知識の学科講習

日 時：2023年4月22日(土) 9：30～15：30

場 所：富山県総合情報センター2階 第5会議室

受講者：1級4名・2級6名



技能講習（学科）

### ○技能講習（実技）… 検定に向けての実技講習

日 時：2023年5月16日(火)～18日(木) 9：00～16：30

場 所：(株)トヨックス 北工場

受講者：1級4名・2級6名



技能講習（実技）

### ○社内検定（実技）

日 時：2023年6月2日(金)～8日(木) 9：00～16：30

場 所：(株)トヨックス 北工場

受検者：1級4名・2級6名



社内検定（実技）

### ○社内検定（学科）

日 時：2023年6月3日(土) 10：00～11：30

2023年6月5日(月) 14：00～15：30

場 所：富山県総合情報センター2階 第5会議室

(株)トヨックス本社会議室（プレゼン室）

受検者：1級4名・2級6名



社内検定（学科）

Connect to the Future  
**TOYOX**<sup>®</sup>  
URL：https://www.toyox.co.jp

株式会社トヨックス 〒938-8585 富山県黒部市前沢4371  
TEL 0765 - 52 - 3131  
支店：東京・名古屋・大阪

 阪神化成工業株式会社

〒939-8183 富山市小中163番地  
TEL(076)429-1865  
FAX(076)429-6042  
URL https://www.hanshin-group.co.jp

## 業界功労表彰・優良従業員表彰

5月31日(水)にホテルグランテラス富山にて表彰式が開催されました。今回は、総務担当役員を17年間就任いただいた延澤副会長や当工業会の委員・検定委員を永年に亘り務めていただいた業界功労表彰者の4名そして、会員企業様から推薦された優良従業員表彰者の21名の方々が表彰されました。表彰式では、中西会長より永年に亘る貢献への労いと並びに、皆様を支えてこられた家族の方々へ感謝を伝えられ、今後も健康に留意して更なる活躍を期待すると挨拶されました。その後、(公財)富山県新世紀産業機構 伍嶋二美男理事長より、温かいご祝辞をいただきました。表彰されました方々、本当におめでとうございました。

### ■業界功労表彰者

氏名	企業名
延澤 泰明	ミユキ化成(株)
吉川 一彦	三晶MEC(株)
田口 浩孝	(株)タカギセイコー
有倉 昌宏	ビニフレイム工業(株)



表彰状授与

### ■優良従業員表彰者

氏名	企業名
東 克彦	(株)タカギセイコー
江尻 治彦	ミユキ化成(株)
奥村 健二	ミユキ化成(株)
加藤 悟	小林製薬ブラックス(株)
佐野 健学	(株)碓井製作所
杉谷 祐子	(株)リッチェル
関 泰幸	戸出化成(株)
惣元伊希子	(株)大樹
高桑 恵	五栄化学工業(株)
土肥 敏也	テクノプラス(株)
西谷 祐子	(株)コージン
埜林 聖子	阪神化成工業(株)
早川 幸男	ファインプラス(株)

氏名	企業名
古島 正弘	太平(株)
前田 和美	三光合成(株)
宮元 一雄	(株)コージン
宮本 睦子	(株)斉藤製作所
森 義宏	三協化成(株)
森井 裕伸	三光合成(株)
山田 國弘	(株)タカギセイコー
吉野日登美	(株)トヨックス



表彰状授与

## 懇親ボウリング大会

日時：2023年7月29日(土) 9:30~11:30 参加者：10社14チーム 56名  
場所：クアトロブーム小杉店

今年度は、新型コロナ5類に移行となり、多数参加していただき、ありがとうございました。今回は、1レーン4名の通常内容にて実施しました。

総務委員・厚生事業担当から、大会運営のルール説明があり、試合開始の合図と同時に、熱い戦いとなりました。各レーンでは投球毎に、大きな歓声やガッツポーズ等大変盛り上がった大会となりました。詳細な成績は下表の通りです。

### ■団体の部(チーム名・企業名)

優勝	氷見工場	(株)タカギセイコー
準優勝	チームT	(株)タカギセイコー
3位	チーム新湊	(株)タカギセイコー

### ■個人の部(氏名・企業名)

紙屋 安久	(株)タカギセイコー
高田 正彦	(株)タカギセイコー
内田 千草	タカラ産業(株)



団体の部優勝  
(株)タカギセイコー 氷見工場

未来への限りない挑戦  
プラスチックの総合メーカー



ミユキ化成株式会社

代表取締役社長 延澤 隆史

〒939-0351 富山県射水市戸破53-14  
TEL(0766)56-9500(代) FAX(0766)56-9495  
URL: <http://www.miyuki-kasei.co.jp>

Richell

暮らしと心を、もっと豊かに

株式会社リッチェル

富山市水橋桜木136 〒939-0592  
TEL(076)478-2155 [www.richell.co.jp](http://www.richell.co.jp)

ガーデン用品・ペット用品・ベビー用品・ライフケア用品・ハウスマテリアル用品・環境用品・医療機器等の製造販売

(広告は、企業名の50音順で掲載しています)



「できる」が景色を変えていく。

**SHIROUMA**

私たちは、私たちの成果を通じて、「景色」を変えていきたい。  
これからも、独創性にあふれたプラスチック製品を提供することで、  
お客様の見える景色、そして、その先にある世の中の景色を変えていきます。



**シロウマサイエンス株式会社**

代表取締役社長 長田 剛

〒939-0643

富山県下新川郡入善町青木5777番地

TEL:0765-72-0038 FAX:0765-72-5011

URL: <https://www.shiroma.co.jp/>

1969年に創業したシロウマサイエンス株式会社は、プラスチック製品の設計・成形・加飾などを通じて、お客様の様々な要望を形にしていきました。



プラスチックは現在、暮らしの様々な場面で用いられています。私たちの作る製品の多くも、取引先様を通じて、生活者の肌に触れられています。そのため、品質の管理・向上はもちろんのこと、たんに製品を作るのではなく、私たちから提案し、設計・施策、そして評価と最終試験までをスピーディに行うことで、期待に応える製品づくりに努めています。

どんな難題に対しても、どうしたら乗り越えられるのかを考える。

カタチにできるまで、何度でも挑戦を繰り返す。

社員全員の徹底する姿勢と、お客様からの厚い信頼が、今日の実績につながっていると考えます。

# TOYO

## MACHINERY & METAL

### 1. 会社紹介

東洋機械金属は1925年の創業以来、「お客さまを大切に、お客さまとともに発展したい」との想いを胸にお客さまの価値を高める「Customers' Value Up」を目指す射出成形機、ダイカストマシンの製造販売を行っています。

2025年には創業100周年を迎えますが、ご要望に簡単にNOと言わない姿勢を貫き、独自技術をもって最善のご提案を届けるのが私たち東洋機械金属の永遠の使命です。

### 2. 会社概要

創 業 1925（大正14）年5月16日

資 本 金 25億円（東証プライム市場：証券コード6210）

代 表 者 代表取締役社長 田畑 禎章

従業員数 771名（2021年3月）

本社・工場 兵庫県明石市二見町福里523-1 TEL. 078-942-2345 FAX. 078-943-7275

関西支店 大阪府東大阪市長田東5丁目1-28 TEL. 06-6746-2434 FAX. 06-6746-2864

北陸営業所 石川県金沢市浅野本町ニ120-1 TEL. 076-252-5370 FAX. 076-252-9778

その他、国内14カ所、海外60カ所超の拠点

URL <http://www.toyo-mm.co.jp/>

### 3. 主要取扱製品

- ・横型電動サーボ射出成形機 Siシリーズ 15～1300t
- ・全電動縦型成形機 ETシリーズ 20～230t
- ・2色/異材質成形機 Si-RWシリーズ 130,230t
- ・ダイカストマシン BDシリーズ 80～1250t
- ・電動サーボダイカストマシン DSシリーズ 125～800t
- ・射出成形機、ダイカスト関連周辺機器

### 3. 北陸営業所の紹介

北陸営業所の担当エリアは、富山、石川、福井の北陸3県で射出成形機、ダイカストマシンの販売、メンテナンスサービスを行っております。自動車、工業、弱電、雑貨、医療関係に携わる様々なユーザー様に弊社マシンを導入頂いております。

北陸営業所の展示場には最新の射出成形機を常設しております。成形でお困りの際はトライも実施できますのでお気軽にご相談ください。またこの展示場は石川県プラスチック工業会と連携したプラスチック射出成形の技能検定実技試験場となっております。これまでに多くの技能士も誕生しております。当活動は北陸エリアの成形業界の発展に貢献すべく今後も継続する所存です。

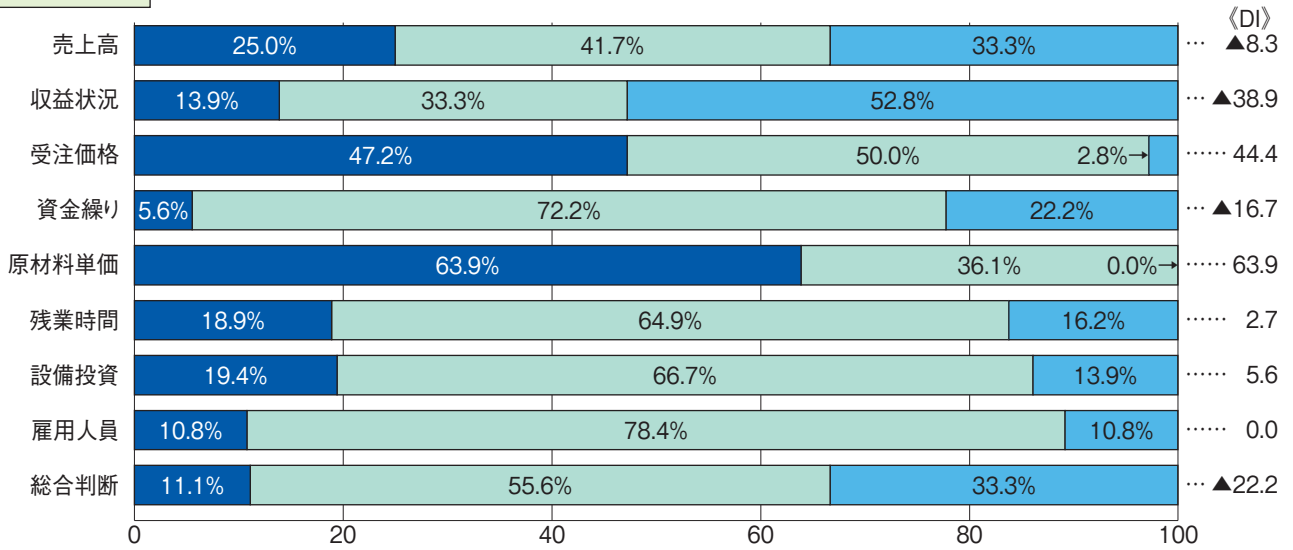


## 最近の実績

2023年4月～2023年6月/前年同期比

■ 増加・好転・上昇 ■ 変わらず ■ 減少・悪化・低下

調査項目

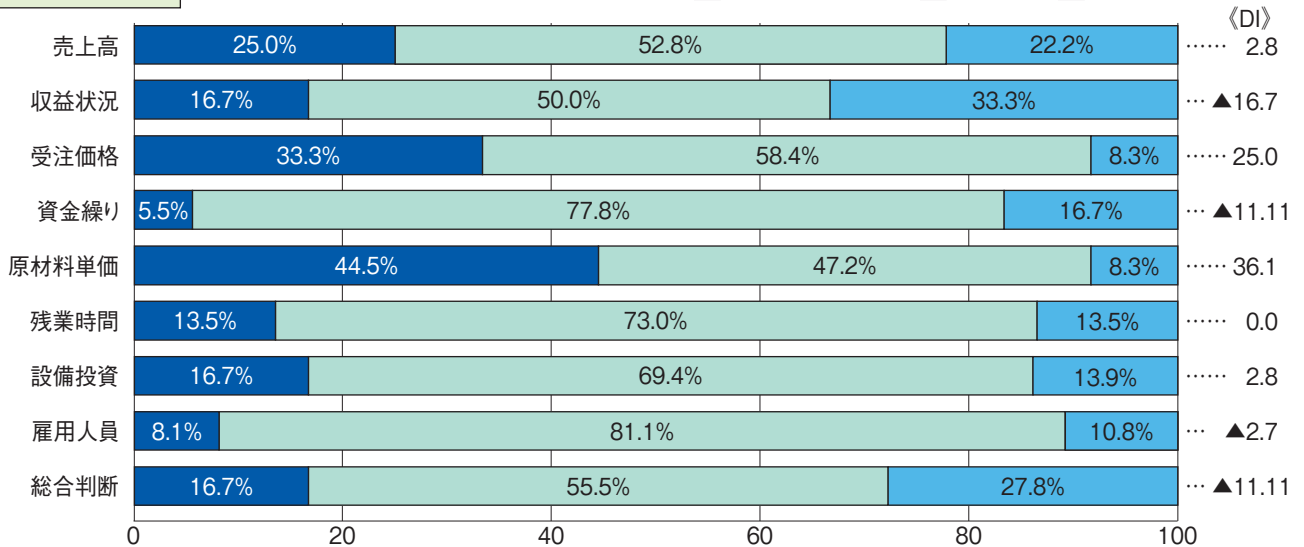


## 今後の見込み

2023年7月～2023年9月/前年同期比

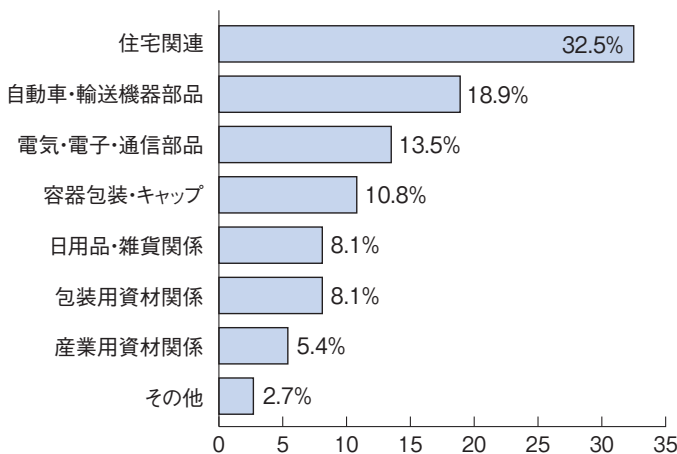
■ 増加・好転・上昇 ■ 変わらず ■ 減少・悪化・低下

調査項目



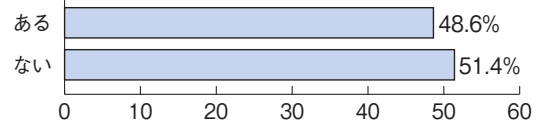
(37社回答)

### [1] 売上(取扱い)商品の中で最もウエイトが高いのは?

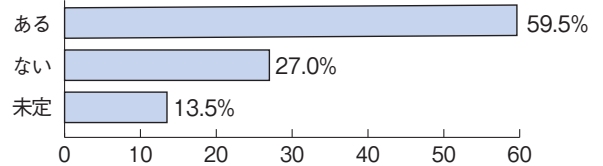


### [2] 雇用について

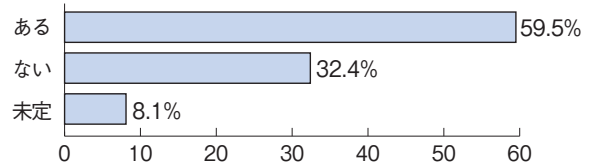
#### ●2023年4月の新規学卒者入社実績



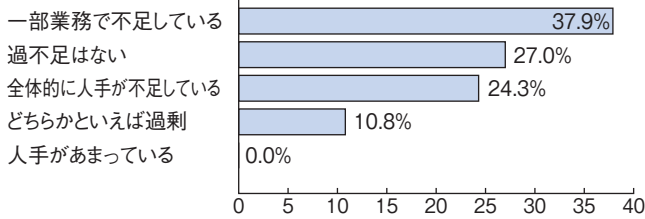
#### ●2023年4月～9月の中途採用実績・予定



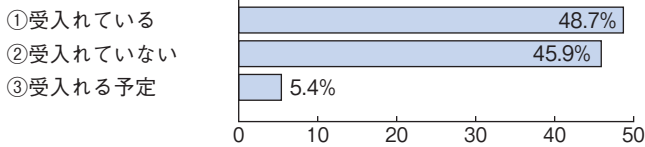
#### ●2024年4月の新規学卒者の採用予定



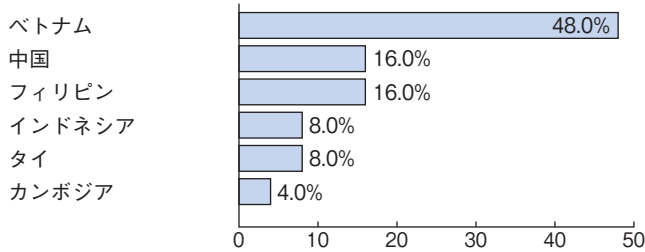
### [3] 現在、貴社の人員の充足感について



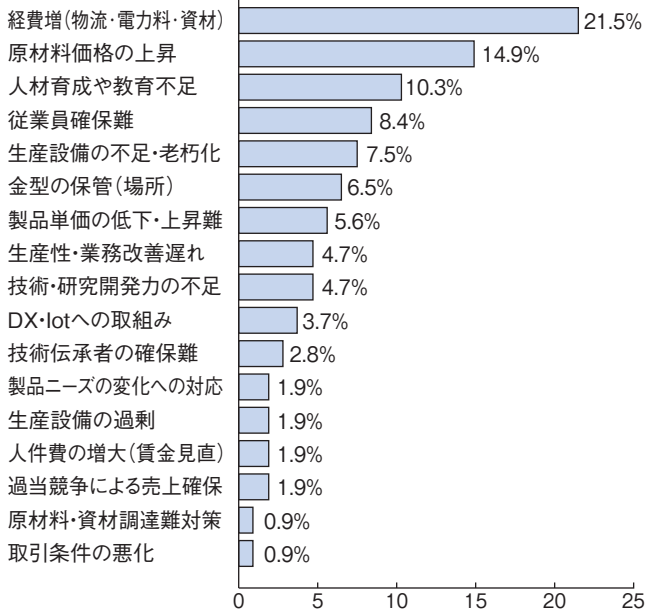
### [4] 外国人実習生の受入状況について



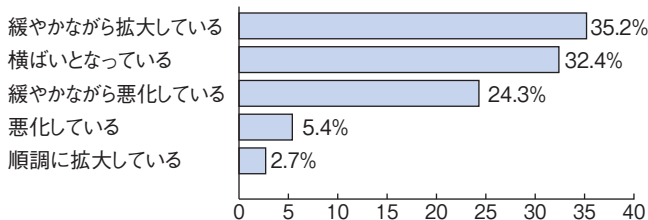
### [5] 問[4]の①又は②の出身地は？



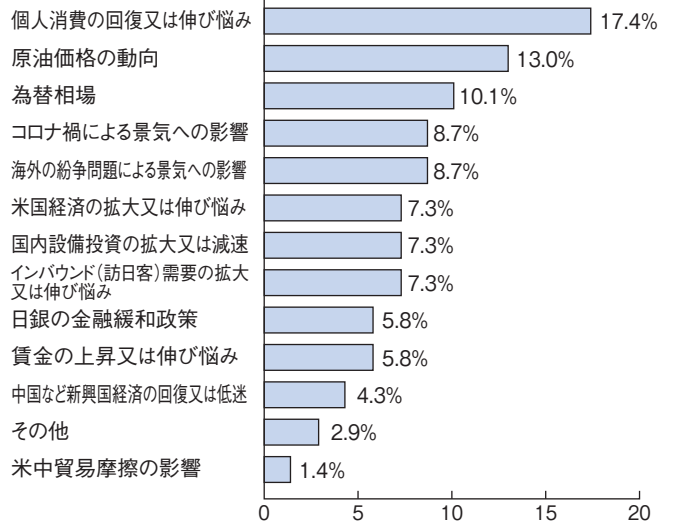
### [6] 今季直面している経営上の問題点について (2023年4月～6月まで)



### [7] 現在の国内景気をどのように認識されてますか？ (前回の調査：2023年1月～3月と比較して)

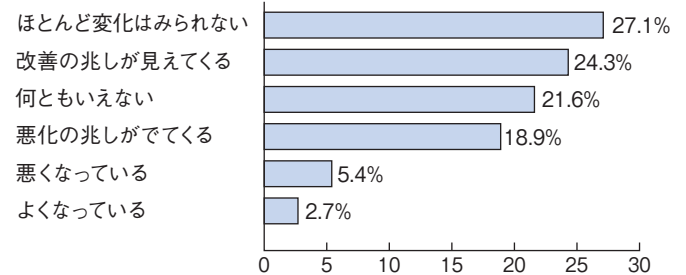


### [8] 問[7]のそれぞれの要因について

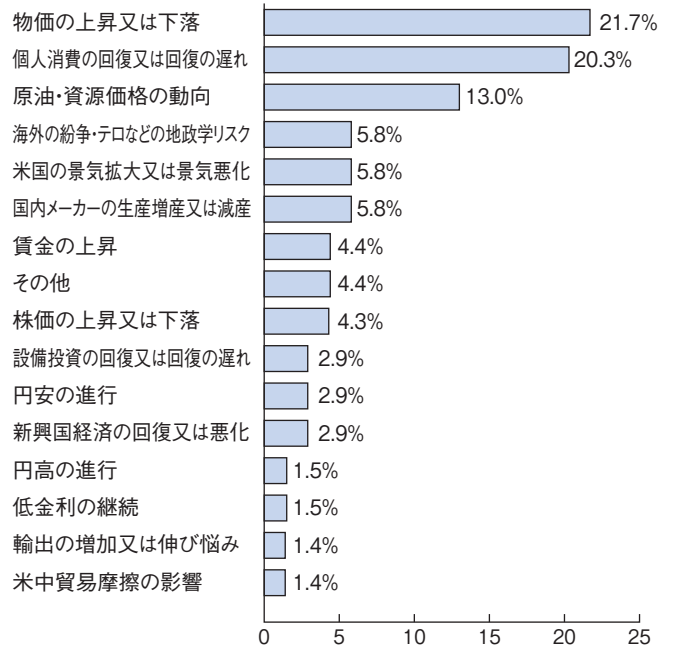


※その他：価格転嫁出来ない事により収益減少  
売価は仕入・経費の値上分を含まない為利益は変わらず

### [9] 今後の国内景気は、現在と比較して どうなると思いますか？



### [10] 問[9]のそれぞれの要因について



※その他：多くの中小が適正価格で商売が出来ない  
海外経済の悪化  
値上げは進んでいるが売上高は下落傾向にある

## 加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機									押出成形機				ブロー成形機		
	計		型締力100t未満		型締力100t以上200t未満		型締力200t以上500t未満		型締力500t以上		本体		付属装置		本体			
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額		
2017	16,508	217,490	14,353	161,943	5,092	31,904	5,536	48,749	2,843	41,056	882	40,234	513	17,644	995	16,677	647	21,226
2018	17,031	222,194	14,950	173,817	5,409	35,315	5,506	49,008	3,248	47,091	787	42,403	500	16,213	916	12,965	665	19,199
2019	14,809	208,416	12,753	156,256	4,689	30,676	4,290	40,158	3,027	43,735	747	41,687	472	24,797	1,095	12,070	489	15,293
2020	11,429	179,653	9,837	121,989	3,266	21,931	3,632	34,095	2,476	37,392	463	28,571	382	30,909	744	9,890	466	16,865
2021	15,231	202,211	13,742	153,164	3,845	23,777	5,854	51,929	3,490	51,588	553	25,870	312	18,749	717	14,105	460	16,193
2022	14,535	213,046	13,114	153,799	3,535	22,290	5,692	51,758	3,272	48,485	615	31,266	268	20,809	829	25,406	324	13,032
2022.11月	1,255	19,079	1,079	13,549	280	1,886	441	4,288	280	4,047	78	3,328	38	1,853	121	2,876	17	801
前年同月比%	90.9	99.5	86.3	96.7	79.5	84.9	78.2	84.4	97.6	95.7	166.0	133.8	146.2	74.8	149.4	146.2	73.9	112.0
2022.12月	1,104	21,275	989	14,408	249	1,674	398	4,414	273	4,258	69	4,062	24	3,370	64	2,418	27	1,079
前年同月比%	90.0	125.3	90.7	113.6	75.9	87.0	91.9	116.1	98.9	103.0	130.2	143.7	85.7	492.0	83.1	109.1	84.4	77.2
2023.1月	1,000	16,380	909	11,823	231	1,633	396	4,232	224	3,075	58	2,883	16	2,291	51	1,313	24	953
前年同月比%	94.3	113.7	92.8	113.4	72.2	81.3	103.1	136.9	92.6	87.9	170.6	157.5	145.5	150.1	96.2	98.4	141.2	85.2
2023.2月	1,006	18,862	883	11,634	258	1,745	351	3,763	224	3,363	50	2,763	18	1,118	73	4,586	32	1,524
前年同月比%	83.9	113.2	85.1	100.3	82.4	100.6	81.1	97.2	90.3	91.8	113.6	118.6	54.5	98.9	88.0	217.9	71.1	83.3
2023.3月	1,297	21,278	1,090	14,607	283	1,838	462	4,431	280	4,536	65	3,802	36	1,242	144	4,236	27	1,193
前年同月比%	92.5	112.3	85.2	98.9	75.7	82.5	88.2	94.2	86.7	92.0	112.1	131.0	105.9	51.9	248.3	822.5	87.1	94.2
2023.4月	988	17,286	849	9,847	237	1,484	360	3,184	207	3,160	45	2,019	27	1,632	89	4,561	23	1,246
前年同月比%	78.4	111.9	72.7	77.3	75.7	76.4	72.6	72.7	65.3	68.0	107.1	113.6	270.0	735.1	161.8	329.3	82.1	113.7

## 原料生産実績

単位：トン

	計	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PET樹脂	PBT樹脂	その他樹脂
2017	10,560,134	301,939	2,654,815	1,240,813	2,505,540	154,919	1,705,921	310,179	115,184	0	110,121	1,460,703
2018	10,241,761	302,164	2,466,620	1,236,915	2,357,807	151,603	1,690,288	320,793	119,256	0	120,828	1,475,487
2019	10,100,761	288,752	2,447,909	1,172,580	2,439,862	142,949	1,732,545	297,505	100,698	0	114,513	1,363,448
2020	9,262,669	258,409	2,246,009	1,057,216	2,246,815	129,345	1,626,549	269,660	89,683	0	96,836	1,242,147
2021	9,926,985	295,795	2,451,642	1,074,185	2,463,136	138,994	1,625,347	280,922	120,315	0	117,093	1,359,556
2022	8,963,935	267,024	2,236,753	893,178	2,120,222	120,925	1,544,933	261,151	125,486	0	108,386	1,285,877
2022.11月	713,716	21,323	182,000	72,085	179,069	6,039	114,619	19,561	6,127	0	7,213	105,680
前年同月比%	85.1	83.7	82.6	84.0	84.3	66.5	84.6	94.2	169.2	0.0	83.7	90.3
2022.12月	732,493	20,047	192,107	58,995	180,839	7,789	131,986	22,617	10,045	0	8,298	99,770
前年同月比%	83.9	83.1	81.2	73.4	83.6	61.6	91.7	124.2	86.7	0.0	83.5	83.5
2023.1月	787,499	18,369	207,388	68,431	199,835	9,502	133,568	24,021	10,791	0	9,577	106,017
前年同月比%	89.7	82.9	98.8	79.1	100.1	83.8	91.5	114.0	84.4	0.0	86.7	67.2
2023.2月	724,947	18,946	172,149	67,611	187,325	8,856	129,512	20,696	9,784	0	9,177	100,891
前年同月比%	95.3	82.1	106.0	88.7	111.0	85.8	98.1	97.5	86.9	0.0	97.7	69.0
2023.3月	676,084	19,626	167,647	61,953	164,078	11,361	113,568	14,594	7,854	0	8,283	107,120
前年同月比%	89.7	77.3	101.4	89.3	98.9	90.1	99.8	54.4	77.7	0.0	83.0	69.3
2023.4月	721,122	18,444	184,329	74,538	179,465	9,134	122,023	14,894	7,584	0	9,150	101,561
前年同月比%	97.2	80.3	120.0	92.4	107.1	71.8	103.6	65.2	65.4	0.0	85.8	71.7

## 製品生産実績

単位：トン

	計	フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手	機械部品①～③			日用品・雑貨	容器		建材	発泡製品	強化製品	その他	
								計	①輸送機械部品	②電気通信部品		③その他部品	中空成形容器					その他の容器
2017	5,808,801	2,286,546	219,856	114,362	56,006	398,821	45,458	672,089	505,463	115,038	51,588	301,609	502,846	327,908	283,809	249,400	77,117	272,974
2018	5,883,291	2,311,711	215,415	119,513	58,439	394,465	44,892	683,616	518,568	114,134	50,914	301,071	510,028	357,973	274,138	251,866	72,080	288,084
2019	5,736,059	2,246,155	202,543	104,389	58,854	383,893	49,465	693,999	527,733	116,142	50,124	284,340	493,982	353,688	268,932	243,780	74,149	277,890
2020	5,501,464	2,171,309	203,796	95,316	44,157	361,926	45,120	657,996	512,442	101,466	44,088	305,603	466,197	328,443	241,979	243,864	67,819	267,939
2021	5,685,065	2,233,862	218,777	96,744	54,599	363,333	51,809	671,222	515,861	108,340	47,021	307,297	464,988	384,781	252,691	245,403	66,720	272,839
2022	5,568,110	2,162,311	210,464	87,840	52,129	343,988	53,105	658,374	507,478	104,375	46,521	299,116	487,906	377,322	253,073	240,198	68,089	274,195
2022.11月	474,030	181,127	16,819	7,428	4,719	31,968	4,564	60,474	47,702	8,831	3,941	25,322	40,292	29,747	22,263	21,153	6,256	21,898
前年同月比%	94.4	92.3	85.8	90.5	100.3	86.1	90.8	99.6	99.8	97.2	102.4	98.4	107.4	88.1	101.7	95.8	103.0	93.8
2022.12月	437,149	162,988	16,515	6,891	4,122	28,680	4,264	56,630	44,441	8,269	3,920	23,556	37,026	27,949	21,228	20,387	5,769	21,144
前年同月比%	93.2	89.7	89.7	93.7	94.6	89.7	88.9	97.8	97.9	96.4	100.4	93.4	102.4	88.2	100.3	99.2	102.3	94.9
2023.1月	395,084	146,791	16,452	6,057	3,819	25,148	3,934	49,235	38,197	7,544	3,494	21,031	35,541	25,003	18,659	18,064	5,141	20,209
前年同月比%	91.6	87.5	96.0	93.7	91.3	84.0	95.6	99.1	101.1	91.9	95.1	91.5	108.0	81.8	93.5	94.7	95.2	95.3
2023.2月	425,051	159,809	15,573	6,588	4,286	23,971	4,259	56,823	45,257	7,747	3,819	22,061	39,370	26,181	20,825	18,175	5,405	21,725
前年同月比%	94.1	91.2	93.9	93.7	98.8	77.3	93.2	106.8	111.0	90.1	100.0	91.6	110.6	79.4	101.9	96.3	100.2	97.1
2023.3月	462,905	169,728	16,255	6,862	4,929	26,373	3,994	64,882	51,685	8,643	4,554	25,014	44,919	28,810	22,237	19,290	6,240	23,372
前年同月比%	92.2	87.2	85.7	83.1	100.0	92.2	80.9	104.7	106.8	91.6	109.3	95.7	107.2	77.2	96.1	96.7	104.7	92.7
2023.4月	453,106	169,821	16,599	6,804	4,432	23,685	4,457	57,968	45,040	8,638	4,290	25,641	46,190	29,406	21,759	18,895	5,284	22,165
前年同月比%	93.6	89.1	85.6	90.0	101.9	98.1	92.9	106.1	108.6	92.5	112.3	93.5	107.7	80.7	96.7	91.6	102.9	95.0

(経済産業省データ加工)

## 【会員の動き】

## ■代表者の変更 (登録代表者)

有限会社三立工業所

代表取締役社長 竹平 雄式  
(前:竹平 幸雄)

東洋化工株式会社

代表取締役社長 北川 大輔  
(前:中田 充)

三協化成株式会社

代表取締役社長 浦谷 昌克  
(前:芝田 亮)

東洋機械株式会社関西支店北陸営業所

吉井 博之  
(前:諸江 康彦)

株式会社リッヂェル

取締役会長 渡辺 信樹  
(前:蓮池 浩二)

藤堂工業株式会社

代表取締役社長 小松 一成  
(前:藤堂 利一)

## 共創

## コロナ禍を振り返って

新型コロナウイルスの感染が広がったところから、「コロナ禍」という言葉をよく見聞きするようになった。「禍」は「災い」や「災難」、「不幸な出来事」を意味する言葉だが、新型コロナウイルス感染拡大による、さまざまな経済的、社会的な影響を一言でまとめて表現するのに使われるようになった。新型コロナウイルスは、2019年12月に中国で初めて確認され、その後世界中に感染が広まってから3年半が経過した。そして、今年5月8日に日本では感染症分類が「2類」相当から「5類」に変更され、季節性インフルエンザと同じ扱いで行動制限などはなくなった。その日以降、毎日報道されていた感染者数のニュースも週に一度になった。この原稿が会報に載るころは、真夏の真ただ中なので、もうほとんどの人がマスクを外しているのだろうか。

私は、いろいろな社会的な指標、統計の比較は抜きにして、感覚的には、コロナ前とほとんど変わらない状態に戻ったような感じがする。ウイルス感染は全く消滅したわけではないし、今この原稿を書いている時点でも、感染者は緩やかに増加しているという報道がされていた。しかし、現状はまさに「Withコロナ」状態に入ったのだと思う。

個人的に、これまでのコロナ禍を振り返ってみると、毎日が「感染予防」、「密回避」、「行動制限」、「自粛」、「ステイホーム」。他人の行動が気になり、悪意のない

防衛本能が自粛警察を生む、行き過ぎた雰囲気まん延し、本当にいやな気分になった。ただ、感染予防のお陰で、風邪かなと感じる体調不調は少なくなった。手洗い・消毒は、完全に日々ルーチンとなって今でも続いている。この期間に変わったこととしては、日常生活では、キャッシュレス決済がかなり普及したような気がする。仕事面では、急速にオンラインミーティングが浸透、リアル開催形式から変化があった。説明会など一方通行的な集まりは、録画視聴などで時間・場所の制限なく開催ができるようになった。移動手段の時間短縮、経費削減、対面式とのメリハリをつけた運用で作業効率の向上に繋がった。

ポストコロナでは、以前は当たり前のようにしてきたこと全てを戻す必要がないことに気づき、その「当たり前」が、当たり前ではなくなった時、我慢ではなく、順応していくこと、受け入れるが大切で、そのための心の健康を維持することがとても大切だと気付かされた。

「禍」が意味する「災い」には、「災いを転じて福となす」「災いも三年(置けば用に立つ)」などのことばもある。新型コロナウイルスの感染は、これからも安心できる状態にはならないだろうが、働き方や生活様式をうまく変え、「災い」が幸せに転じたと感じられるよう心がけ、いつか、コロナ禍を乗り切ったことで、今があると思えるようになりたいと思う。

編集委員 (株)タカギセイコー 谷田 雄彦

## 《編集委員会》

編集委員長 河内 猛 (株)リッヂェル  
編集委員 谷田 雄彦 (株)タカギセイコー  
〃 濱井 泉 (株)碓井製作所  
〃 思田 幸二 (三光合成株)  
〃 上田 祐輔 (阪神化成工業株)



## 富山県プラスチック工業会

(富山技術交流センター内)  
〒930-0866 富山市高田529番地  
TEL(076)442-0309 FAX(076)442-0310  
URL <http://www.kenpla.jp> E-mail [info@kenpla.jp](mailto:info@kenpla.jp)



## 編集後記

会報「とやま県No.51号」の発刊にあたり、原稿や感想文など関わっていただいた方々には、心から感謝致します。

新型コロナが2類から5類へと移行となり経済活動が活発になってきました。しかしながら、気が抜けない状況が続いている中でも、当工業会事業を計画通りに開催することが出来ました。会員企業の皆様におかれましては、引き続き事業へのご参加・ご支援の程宜しくお願い致します。

最後に門前様には、27年間にわたり総務委員そして会報編集委員として多大なるご尽力を賜りました。心より感謝申し上げます。  
事務局 (記)

「とやま県プラ」No.50号特別プレゼントクイズ企画に多数の応募いただき誠にありがとうございました。厳選な抽選により当選者10名の方には、発送を持って結果発表と代えさせて頂きました。

【クイズ解答】 1.:口 2.(1):ニ 2.(2):口